

作業名	モモの摘果①	作業期間	5月上旬から6月上旬
圃場位置	韮崎市	作業環境	○トイレ：なし ○休憩場所：圃場
利用者の声	○外での仕事は気持ちよかった。今後も、モモの作業をやってみたい。		
農業者の声	○初めての作業なので不備な点はあったが、毎年継続して作業をしていくことで技術を習得することができるので、来年もお願いしたい。		
作業・支援内容			
①		<p>○農務事務所から基本的な摘果の指導があった。</p> <p>○片手で枝を優しく持ち、もう片方の手で実を持ち、回すように摘果するように指導した。また、両手で作業を進めると効率よくできることを指導した。枝を折ってしまう場合があるが、注意するのではなく、どうして折れたのか説明をした。</p>	
②		<p>○10センチくらいの枝は1個、20センチくらいの枝のは2個～3個の大きな実を残すように指導した。</p> <p>○迷うので大きな実を残すように指示すると、摘果しすぎることを防ぐことができた。</p>	
③		<p>○今回は予備摘果であるので、小さい実、変形した実、枝の上側・横側の実を中心に摘果するように指導した。</p>	
④		<p>○大きな枝の両側に一人ずつ配置して作業を進めると取り残しが少なくなった。</p> <p>○脚立は不整地での使用となるので、設置場所は指導者が安全を確認した。また、脚立の設置場所は事故に直結するので利用者さんではなく指導者が設置した。</p>	

作業名	モモの摘果②	作業期間	5月上旬から6月上旬
圃場位置	韮崎市	作業環境	○トイレ：なし ○休憩場所：圃場
利用者の声	○頑張って作業をしたので気持ちよかった。		
農業者の声	○初めての作業なので不備な点はあったが、毎年継続して作業をしていくことで技術を習得することができるので、来年もお願いしたい。		
作業・支援内容			
①		○農業者から基本的な摘果の指導があった。 ○引きちぎると枝が折れたり葉が取れたりするので、実がついている反対の方向に実を持って行くと取れやすい。大きな実実を回すと取れやすいことを説明した。	
②		○摘果する実の間隔は、10センチくらいと説明するのではなく、①親指から人差し指の距離 1個 ②親指から小指の距離 1個～2個 ③指先から肘までの距離 2～3個などと説明した。 ○迷うので大きな実を残すように指示すると、摘果しすぎることを防ぐことができた。	
③		○今回は予備摘果であるので、小さい実、変形した実、枝の上側・横側の実を中心に摘果するように指導した。	
④		○支援者が摘果作業に集中してしまうと、支援者が作業した後を利用者が摘果してしまう場面も想定されるので、支援者は常に利用者さんの作業の様子を把握しておくことが必要であることも指導した。	

作業名	モモの摘果③	作業期間	5月の上旬から6月上旬
圃場位置	甲州市	作業環境	○トイレ：なし ○休憩場所：圃場
利用者の声	○初めてのモモの摘果作業でしたがよくできたのではないかと思います。		
農業者の声	○今期は、農業者が手直しをする時間的余裕がなかった。出来栄は、手直しが必要ではあると思う。		
作業・支援内容			
①		○今回は予備摘果であるので、小さい実、変形した実、枝の上側、横側、先端と根元を中心に摘果することを説明した。	
②		○怪我などを想定して、応急措置ができるように、救急セットを事前に準備していた。	
③		○摘果中、モモの毛が顔や首周りに付着しかゆくなるので、それを軽減するためにベビーパウダーを塗って作業を実施していた。	
④		○通常の脚立ではなく、ブドウ用の脚立を活用し、危険の軽減に配慮をしていた。	